

「不戦へつなぐ 戦没学生遺稿展」開催にあたって

目 次

「不戦へつなく 戦没学生遺稿展」開催にあたって

戦没学生の遺稿

1 日中戦争期

2 太平洋戦争期

3 学徒出陣期

4 戦 後

戦没朝鮮人学生関連資料

年表「中国侵略からアジア・太平洋戦争へ」

戦時学徒必携「大東亜」地図

わだつみのこえ記念館所蔵・戦没学生関係主要資料リスト

「戦後」の真の到来のために

表紙写真：津布久 智

篠崎 二郎

一九一〇年（明治43） 3月2日生。
奈良県出身。

同志社大学予科を経て、31年（昭和6）、同文学部英文学科進学。

35年卒業。新聞記者記者を希望するが果たせず、大阪市立東商業学校の英語科の教員になる。

37年2月、結婚。

37年4月、通信講習所に勤める。

38年4月、補充兵として応召、奈良の歩兵第38連隊に入営。

38年8月、南京の中支派遣軍岩松部隊司令部付で新聞班に所属。

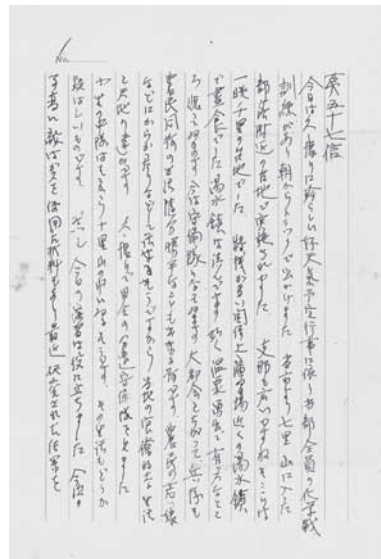
40年5月、召集解除。

41年8月、再度応召。

41年9月、平壤の尼崎隊に所属。後、南海派遣軍に属し、東部ニューギニアに転戦。

44年1月18日、東部ニューギニアにて戦死。享年33歳。

「篠崎二郎書簡」(篠崎寿子宛第五七信)



田村 正

一九一〇年（明治43年） 12月5日生。
栃木県出身。

浦和高等学校を経て、35年（昭和10）、東京帝国大学医学部卒業。養育院に医師として勤務。

38年10月15日、高橋嘉代子と結婚。

41年8月3日、召集により陸軍東部第36部隊入

営。

41年9月13日、宇都宮陸軍病院に転属、軍医。

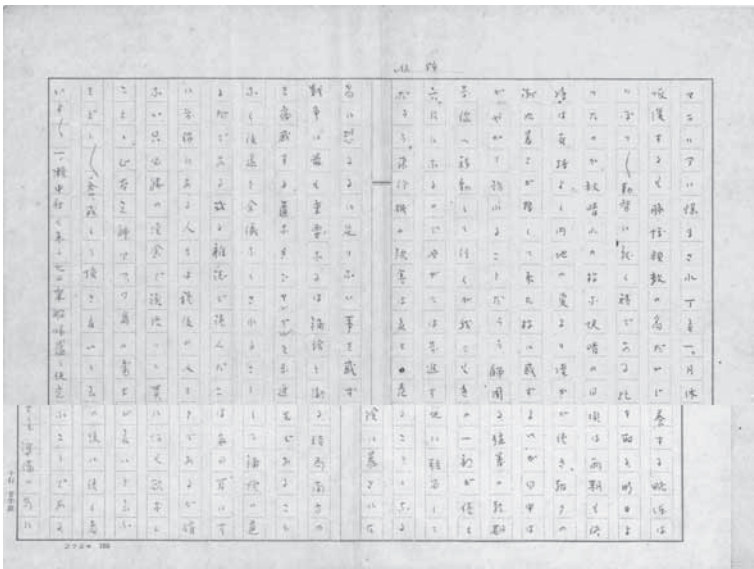
43年2月22日、ニューギニアのウエワークに上

陸。

44年12月12日、ウエワークにて戦病死。

享年35歳。

田村正『ニューギニア日記』



戸谷 敏之

一九二二（明治45）7月27日生。

長野県出身。

39年（昭和14）、法政大学経済学部卒業。

41年7月入営、同9月除隊。

44年3月再召集、東京の東部第6部隊に入営。

45年9月、フィリピンのカガヤン・アパリ山岳地帯で戦死。

享年33歳。

「戸谷敏之書簡」（戸谷富之宛）

松永 茂雄

一九一三年（大正2）4月30日生。

東京府出身。

31年（昭和6）4月、第一高等学校入学。

32年、第一高等学校中退。

34年1月、現役兵として陸軍歩兵第一連隊に入営。

35年、除隊。私立花岡学園小学部に勤務し児童

教育にあたる。並行して文芸同人誌『ゆめみこ』

を36年4月までに8冊刊行、劇作『詩・エッセ

イ・歌論』を執筆。

36年4月、国学院大学予科に入学。

37年10月、応召。11月上海派遣軍飯塚部隊高見

部隊上野隊に配属。

38年11月28日、上海の呉淞陸軍病院にて戦病死。

享年25歳。

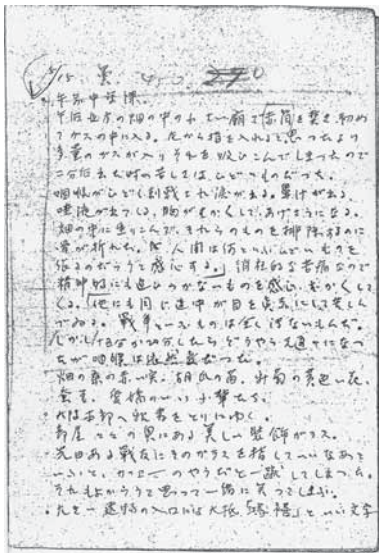
松永茂雄「収録作品批評」の中の

「観賞雑題」への批評



田辺 利宏

一九一五年（大正4）5月19日生。
 岡山県出身。
 30年（昭和5）4月、上京して神田の帝国書院に勤めながら、法政大学商業学校に通う。
 34年4月、商業学校を卒業し、日本大学予科文科に入学。



36年3月、同大学法文学部文学科英文科進学、39年3月卒業。
 39年9月、広島県福山市の増川高等女学校に勤め、英語と国語を教える。
 39年12月、松江に入営。後中国各地を転戦。
 41年8月24日、中国江蘇省北部にて戦死。享年26歳。

『田辺利宏日記』

松永 龍樹

一九一六年（大正5）8月22日生。
 東京府出身。
 38年（昭和13）4月、国学院大学文学部国文学科入学、41年4月卒業。
 42年2月応召、陸軍に入営。
 44年5月28日、中国河南省魯山付近の戦闘で戦死。享年27歳。

